令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　やまなみ会

・ゆほびかデイサービスセンター
（・サ高住　ゆほびか水前寺）

目　次

１	はじめに	・・１ページ
２	施設理念	・・１ページ
３	基本方針	・・１ページ
４	事業計画各項目に係る報告	・・１～３ページ
５	職員の資質向上に向けた取り組み	・・３ページ
６	関係機関等との連携	・・４ページ
７	施設行事	・・４ページ
８	職員研修	・・４ページ

1　はじめに

令和７年度は、地域密着型通所介護事業を行うと共に、サービス付き高齢者向け住宅「ゆほびか水前寺」の管理運営業務委託を受け、業務持続計画をもとに自然災害や感染症等様々な分野における社会情勢の変動にも左右されない運営を目指し、利用者様に安心・安定した支援を持続できるよう取り組んだ。

また、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの一員として、認知症を含め要介護状態になっても住み慣れた自宅や地域で安心して過ごしていただけるよう、地域医療・介護施設等の関係機関との連携を図った。

2　施設理念

法人理念「共に支え、共に生きる」に基づき、職員、ご家族、周辺地域、行政その他関係機関等と連携し、ご利用者が自分らしく住み慣れた地域で生活が送れるよう支援を行う。

3　基本方針

・災害や感染、社会情勢に対し事前対策を図り安定した運営を目指す。
・地域に必要とされる施設・職員を目指す。
・利用者の安心・安全・尊厳を守り、自立した生活が送れるよう支援を行う。
・ご家族、関係機関、行政や地域等と密に連携を行う。

4　事業所計画各項目に係る報告

（1）ゆほびかデイサービスセンター

①ご利用者の生きがい作り

「ゆほびかデイサービスを選んで良かった」と心から感じていただけるように、魅力あるサービスによる生きがいづくりに取り組んだ。

ア　マッサージ付きシアタールームを活用した特別感のある空間で、心身の安定を図り楽しみの一つとなる満足度向上を図ることとしていたが、ご利用者の利用は少なかった。

イ　創作活動として習字、俳句、硬筆、絵手紙の制作を企画したところ、利用者の皆様は真剣に取り組まれていた。

ウ　自立歩行していた利用者が杖や歩行器を使用するようになったり、居室内で転倒する例も散見されるようになったことから、生活の質を高め、残存機能の維持・向上を図るため、個別に機能訓練計画書を策定し、計画に沿った機能訓練を実施した。

エ　タオルや椅子など身近にある道具を使った体操を実施して、機能訓練の一助とした。

オ　機能訓練を兼ねて近隣周辺地域の散策を行い、草花や動物に触れることによるストレス解消を図った。

カ　生活動作の自立を目指し、食事や入浴、排せつなど自分でできるところまでの見守りを行った。

キ　個別ケアについて計画・実行・評価・改善の PDCA サイクルに取り組んだ。

ク　地域に開けた運用を目指し、SNS 運用を通じて活動内容を発信した。特に利用者ご家族に対して、利用者様の生活状況について個別配信を行った。

②認知症予防

ア　買い物や紅葉、花見等外出行事を行い、社会情勢に触れる機会を設けた。

イ　上記とも重なるが季節毎の行事を実施した。

ウ　脳活性を目的としたゲーム、ドリル及び余暇活動を行った。

③お泊りデイサービスの利用促進や家族様の介護負担軽減

住み慣れた自宅での生活を継続するため、また、ショートステイの利用需要増加に対応すべく、お泊りデイサービスに取り組むこととしていたが、夜勤体制確保等叶わず実施に至らなかった。

④質の高い日常生活支援の提供

次の項目に取り組みデイサービスの充実に努めた。

ア　送迎サービス

イ　機能訓練（心身機能改善に向けた集団体操、物理療法、作業療法等、パワーリハ）

ウ　食事提供

エ　脳トレ・認知症予防（生活習慣改善指導・社会との交流・趣味継続・学習療法）

オ　入浴・排泄・身体整容支援

カ　レクリエーション（職員手作りのゲーム他）

（2）サービス付き高齢者向け住宅―ゆほびか水前寺の業務受託事業（２４室）

①事業方針：なりたかった老後を叶える

サービス付き高齢者向け住宅の管理運営業務の委託を受け、入居者様に自分らしくゆったりと穏やかにお過ごし頂ける環境づくりに取り組んだ。

ア　毎日の生活相談・安否確認サービスを提供した。

イ　総合的な生活領域において悩みや課題のヒヤリング・相談を受け、入居者様が

安定した生活を送れるよう支援した。

ウ　日頃の生活の様子やヒヤリングした生活課題等を施設スタッフや担当する介護支援専門員等に速やかに共有し、施設内での改善や担当の介護支援専門員にサービス調整を依頼し、生活課題解消を図った。

エ　病状悪化等の急変時に迅速に対応できるよう、普段の入居者様との関わりを通じて知り得た情報を、適切に把握・管理し関係機関とのスムーズな連携に努めた。

オ　毎食時（３回/日）に入居者様の安否を確認し、毎日バイタルサインの確認を行った。

カ　重度の介護者に対しても可能な限り自立した生活を営むことが出来るようサービスを提供し、社会的孤立感の解消と心身機能の維持・向上を図った。

②入居者獲得～満床率の確保に向けて

ア　ネット上の施設紹介サイトを通じて資料請求があった方へ、遅延することなく資料を郵送して情報提供に努めたが、営業による入居促進活動は実施できなかったため、原状回復工事の遅滞等もあって年度末に 4 件の空室となった。

イ　十分なアセスメントを行い、ご本人及びご家族のニーズを丁寧に聴き取り、ご利用者が自分らしい生活を続けられるよう施設生活を支援することに努めた。

ウ　屋上を活用した菜園活動を通じ身体・心身のリフレッシュや過程を楽しみ、収穫野菜の実食で達成感やご家族へプレゼントすることで交流関係を継続した。

5　職員の資質向上に向けた取り組み

（1）勤務シフトの工夫による資格取得支援を行い、1 名が介護福祉士資格を取得した。

（2）委員会活動

各種委員会の活動状況については、年 2 回の運営推進会議にて報告を行い、改善・改正すべき点など明確化して改善に努め、職員の資質向上に反映させた。

ア　身体拘束・虐待防止措置委員会

イ　事故防止・危機管理委員会

ウ　感染及び災害時等業務継続委員会（BCP）

エ　美化委員会

オ　給食委員会

◇災害、感染等緊急時に備えた備品・備蓄の整備と定期的な点検、実践的訓練の実施

① 人的資源に対する備え、利用者様・従事者の安全を確保するための対策

② 金銭に対する備え、一定期間操業が困難な場合に発生する損失の理解

③ 物資に対する備え、事業場周辺の災害時の危険性について理解・周知

④ 情報流出に対する備え

⑤ その他総合的な備え

災害時避難確保計画を策定し熊本市危機管理防災部防災計画課へ提出すると共に、熊本市中央消防署へ消防計画（地震防災応急計画)）変更届を行い、防災・消防・避難訓練を実施した。

6 関係機関等との連携

① 居宅介護支援事業所やささえりあ（包括）と情報提供等連携を図った。

② 法人内他事業所から介護保険に係る伝送システム導入について指導を受けた。

③ 施設行事等への地域住民の招待は実施できていない。

④ 運営推進会議を年に２回開催して、利用者様並びにご家族様のご出席をいただいた。

7 施設行事（＊定例：誕生日会、外出行事）

4	お花見	8	夏祭り	12	運営推進会議 クリスマス会
5		9	防災訓練、敬老会	1	初詣
6	紫陽花鑑賞 運営推進会議	10		2	節分
7	七夕	11	紅葉狩り	3	

8 職員研修

4	介護予防・入浴介護技術
6	アンガーマネジメント/接遇マナー
8・9	身体拘束・権利擁護/防災訓練
10	認知症とその対応について/接遇マナー
12	記録の書き方
1	法令遵守